

| | | | | | | | |
|------------|--|-------------------------------------|-----------|------|----|--------------------|-----|
| 科目コード | E2108 | 科目名 | 世界の子どもと教育 | | | | |
| 履修区分 | 選択 | 開講期 | 4年前期 | 授業回数 | 8回 | 単位数 | 1単位 |
| 担当者 | 深澤悦子 | | | | | | |
| 授業の概要 | 世界の保育や教育の制度、教育・保育方法に関する知識を深め、日本の保育や教育と比較し、考察する。 | | | | | | |
| DPとの関連 | 平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける | | | | | | |
| | 人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける | | | | | | |
| | 修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける | | | | | | |
| | 教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける | | | | | | |
| | 社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力 | | | | | | |
| | DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 | | | | | | |
| 到達目標 | 1. 世界の子どもたちの文化やあそび、教育について理解し、保育内容を学ぶ。 2. 諸外国の乳幼児教育の思想にふれ、保育や教育についての自分の考えをもつ。 | | | | | | |
| 履修上の注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンは、調べ学習の際には活用する場合がありますが、それ以外は、電源を切るか、マナーモードにして、カバンの中に入れておきましょう。 疑問、わからないことは、必ず質問しましょう。 資料は適宜配布しますので、ファイリングしましょう。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回数 | 講義内容【担当教員】 | | | | 事前・事後学修 | |
| | 1 | 世界の教育制度 | | | | 適宜、提示した学習内容に従って行う。 | |
| | 2 | 世界の学校 | | | | 適宜、提示した学習内容に従って行う。 | |
| | 3 | OECDと乳幼児教育 | | | | 適宜、提示した学習内容に従って行う。 | |
| | 4 | 世界の子どもたちのあそび | | | | 適宜、提示した学習内容に従って行う。 | |
| | 5 | 『シュタツツ便り』から学ぶ子ども（1） | | | | 事前に購読し、要約する。 | |
| | 6 | 『シュタツツ便り』から学ぶ子ども（2） | | | | 事前に購読し、要約する。 | |
| | 7 | 『シュタツツ便り』から学ぶ子ども（3） | | | | 事前に購読し、要約する。 | |
| | 8 | 世界の子どもたちの保育や教育から学んだことについてのプレゼンテーション | | | | 適宜、提示した学習内容に従って行う。 | |
| 成績評価方法 | 提出物40%、期末試験（プレゼンテーション）60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 | | | | | | |
| 教科書 | 書名・著者（出版社） | | | | | ISBNコード | |
| | 1年次の保育原理で使用した教科書 『実践を創造する保育原理第2版』（みらい） | | | | | 978-4-86015-424-0 | |
| 参考書 | | | | | | | |
| 教員からのメッセージ | 自分の保育観を創る、イメージする、深める時間にしましょう。 | | | | | | |
| 教員との連絡方法 | 担当教員と確認してください。 | | | | | | |
| 実務経験のある教員 | | | | | | | |